PORTS OF OSAKA PREFECTURE



阪南港で開催した稚魚放流・船上見学会の様子（令和8年9月17日）

大阪府のみなと

2026.10 No.144

PORTS of OSAKA PREFECTURE
No.144 (一社)大阪府港湾協会

C·O·N·T·E·N·T·S

TOPICS

令和8年度大阪府港湾協会定時総会及び記念講演会……(一社)大阪府港湾協会……1
第2回〈港湾協会研修セミナー〉「堺泉北港見学会～海と陸から～」を開催……(一社)大阪府港湾協会……2
令和８年度　大阪みなとセミナー(大阪会場・東京会場)を開催しました…大阪港湾局 計画整備部 振興課/泉州港湾・海岸部 総務振興課……3
大阪船主会　海の日海上安全祈願祭を開催しました……大阪船主会……4
海事関係功労者表彰・「海の日」祝賀会……公益社団法人近畿海事広報協会……5
～海事産業発展への功績を称えるとともに、その受賞と「海の日」を祝う～
2030年問題と2050年カーボンニュートラルを見据えて――海上モーダルシフトが拓く持続可能な物流の未来…大王海運株式会社……6・7
「Seatrade Cruise Global 2026」に参加しました……大阪港湾局 計画整備部 振興課……7
海の写真コンクール、中学生海の絵画コンクール　府知事賞のご紹介……大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課……8
貿易実務セミナーを実施します！……堺泉北港港湾振興連絡協議会……8

PORT NEWS

「大阪湾クルーズ」を実施しました……大阪港湾局 計画整備部 振興課……9
堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました……堺大魚夜市実行委員会……10
泉大津フェニックスで野外イベントが開催されました！……大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課/事業企画・防災課 地域調整担当……11
阪南港で小学生を対象とした稚魚放流・船上見学会を実施しました！……大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課……11
堺泉北港でテロ対策総合訓練を実施しました！……大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課危機管理担当……12
防災・減災への備え～水門等操作訓練の実施～……大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 建設・施設保全課設備担当……12
工事作業許可申請・行事許可申請 ～電子申請を開始しました～……大阪海上保安監部堺海上保安署……13
金地金や金製品の密輸入についての情報提供依頼……大阪税関 堺税関支署……14

新規入会会員様

新規入会　関西クリアセンター株式会社……14

会員様紹介コーナー

港から世界へ――中古車流通を支えるIAA大阪……株式会社アイ・エー・エー…15～17
まちづくりの総合コーディネート財団をめざして……公益財団法人大阪府都市整備推進センター…18～21
港とともに歩む60年　郵船港運の挑戦……郵船港運株式会社…22～26
希望ある化学で、難題を打ち破る。未来を支えるスペシャリティ化学企業……UBE株式会社堺工場…27～29

会員情報

TOPICS トピックス

令和8年度大阪府港湾協会定時総会及び記念講演会

（一社）大阪府港湾協会

令和８年７月１５日（水）に関空泉大津ワシントンホテルにおいて、令和８年度定時総会を下記のとおり開催しました。当日は１１３名の皆様にお集まりいただき、盛大に執り行うことができました。



竹内 廣行 会長



総会会場の様子



近畿地方整備局 総務部 総括調査官 高橋 様



近畿運輸局 次長 小澤 様



大阪海上保安監部 監部長 藤吉 様

【令和８年度定時総会】

1. 開会挨拶　竹内 廣行　会長

2. 来賓祝辞　近畿地方整備局 総務部 総括調査官　高橋 哲雄　様
近畿運輸局 次長　小澤 康彦　様
大阪海上保安監部 監部長　藤吉 克博　様

3. 議　　事　議長：小幡 斉　様（大阪府タグ事業協同組合 理事長）
第１号議案：令和７年度事業報告及び決算について
第２号議案：令和８年度事業計画及び収支予算について
第３号議案：役員の選任について
その他報告事項
以上、第１号から第３号議案について審議を行い原案どおり可決承認されました。

【記念講演会】

○ テーマ　「物流と港湾の関係について～大阪府営港湾の役割と可能性～」

○ 講　　師　海事研究協議会 代表理事　篠原 正人　氏
講演の概要／港湾および港湾都市の成り立ちを概観した後、ヨーロッパ港湾の独自性のある活性化を参考に、大阪府港湾およびそれを核とする地域経済の可能性について、ご講演いただきました。



講師 海事研究協議会 代表理事 篠原 正人 氏

【懇親会】

1. 開会挨拶・乾杯発声　吉田 光弘　理事（大阪港湾局　理事）

2. 中 締 め　坂田 文郎　副会長（堺泉北埠頭株式会社　代表取締役社長相談役）

TOPICS トピックス

第2回〈港湾協会研修セミナー〉

「堺泉北港見学会～海と陸から～」を開催

（一社）大阪府港湾協会

令和 8 年 9 月 3 日（木）、9 月 9 日（水）に、第 2 回一般社団法人大阪府港湾協会研修セミナーを開催しました。両日とも、たくさんの会員様・関係事業所様にご参加いただきました。

9月3日(木)「海の日」

■参 加 者　２５名

■研修内容　○会議室にて、概要説明

『堺泉北港の概要について』 大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課 係長　稲岡 輝子 氏

『堺泉北埠頭㈱の取り組みについて』 堺泉北埠頭㈱ 営業推進課　中村 裕貴 氏

○概要説明の後、大阪港湾局の監視船「はまでら」に乗船し、堺泉北港～大阪港までを海上見学







9月9日(水)「陸の日」

■参 加 者　２６名

■研修内容　○IAA 大阪様へ訪問。中古車オークション会場等場内を見学・質疑応答。

『IAA 大阪の概要説明』 ㈱アイ・エー・エー 代表取締役副社長　細田 絢介 氏

○訪問後、バスに乗って、助松コンテナターミナル、多目的広場･緑地、夕凪1号岸壁（夕凪２号岸壁建設状況）を見学





（一社）大阪府港湾協会では、今後とも会員の皆さま方のお役に立つような研修などの充実に努めてまいりたいと考えております。次回開催の際は、是非ご参加いただけますと幸いです。

令和８年度　大阪みなとセミナー（大阪会場・東京会場）を開催しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課/泉州港湾・海岸部 総務振興課

【大阪会場】

６月３０日（火）に令和８年度第１回目の大阪みなとセミナーを大阪で開催しました！当日は１５８名の参加者にお集まりいただきました。大阪港湾局からは、大阪みなとの概要や集貨インセンティブについて紹介し、その後、栗林商船株式会社様よりご講演いただきました。また、中国木材株式会社様の取組みについては、大阪港湾局が代理でご紹介しました。



会場の様子（大阪会場）

◇会　　場：TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル
（大阪府 大阪市都島区 中野町５－１２－３０）

◇参 加 者：１５８名

◇講演内容：

○「大阪”みなと”について」
大阪港湾局　計画整備部長　池田　佳介

○事業紹介「『なんでも運ぶ』栗林商船グループ 海陸複合一貫輸送の実践
～大阪港から向き合う『２０３０年問題』とモーダルシフト～」
栗林商船株式会社　常務取締役　栗林　良行　氏

○事業紹介「中国木材による物流での取り組み」
中国木材株式会社
（代理）大阪港湾局　利用促進担当部長　川前　修平

【東京会場】

８月２７日（木）に令和８年度第２回目の大阪みなとセミナーを東京で開催しました。当日は１４２名にご参加いただきました。大阪港湾局からは大阪みなとの概要・取り組みについて紹介し、その後本田技研工業株式会社様、日鉄建材株式会社様にご講演いただきました。

◇会　　場：東京コンファレンスセンター・品川
（東京都港区港南１－９－３６ アレア品川５階）

◇参 加 者：１４２名

◇講演内容：

○「大阪”みなと“について」
大阪港湾局　利用促進担当部長　川前　修平

○事業紹介「大阪港から始まるサプライチェーン再設計～港をＯＳに変える～」
本田技研工業株式会社　サプライチェーン購買本部　SCM・間接材統括部
SCM 管理室　主幹　永野　岳人氏

○事業紹介「モーダルシフトの荷主側メリットと物流効率化の実践事例」
日鉄建材株式会社 執行役員（物流管掌）・ＣＬＯ　繁尾　征一　氏


開会挨拶　大阪港湾局長（東京会場）


閉会挨拶　大阪港湾局理事（東京会場）

大阪船主会　海の日海上安全祈願祭を開催しました

大阪船主会



令和８年７月１７日（金）、大阪船主会は大阪市住吉区の住吉大社において、「海の日海上安全祈願祭」を開催しました。本祈願祭は、大阪船主会、公益社団法人近畿海事広報協会、および公益財団法人海上保安協会大阪支部の３団体共催により、１９４１年（昭和１６年）以来毎年実施しているもので、本年も海上交通の安全と航海の無事、そして海事産業の発展を祈念しました。近畿運輸局、大阪海上保安監部からご来賓をお迎えするとともに、関係者が多数参列し、厳粛な雰囲気の中で神事が執り行われました。



住吉大社は古くから海の神、海上安全の守護神として崇敬されてきた由緒ある神社です。古来、海上交通の要衝として発展してきた大阪の地において、海に関わる人々が安全への誓いを新たにする場として、これほどふさわしい場所はありません。ご神前では大阪船主会会長、近畿海事広報協会会長ならびにご来賓の方々による玉串奉奠が行われ、参列者一同、海上安全への思いを共有しました。その後の直会では、参列者が交流を深めるとともに、海事産業を取り巻く共通の課題について意見を交わす有意義な機会となりました。

「海の日」は、海の恩恵に感謝し、海洋国家日本の繁栄を支えてきた海への理解と関心を深める日として定められています。四方を海に囲まれたわが国は、食料、エネルギー資源、工業原材料など生活と産業に不可欠な物資の大部分を海上輸送に依存しています。私たちの暮らしは海運によって支えられていると言っても過言ではありません。その意味で、海の日は海そのものだけでなく、海上輸送を支える多くの人々の努力と貢献に思いを馳せる日でもあります。

一方で、海運の使命を果たすためには、安全の確保が何よりも重要です。近年の海事産業を取り巻く環境は大きく変化しています。地政学リスクの高まり、世界経済の変動、脱炭素化、デジタル技術の進展、さらには人材確保や技能継承といった課題への対応など、事業環境は一層複雑化しています。しかし、どのような時代にあっても「安全はすべてに優先する」という基本理念は変わりません。船舶の高度化や自動化が進んだとしても、最終的に安全を支えるのは現場で働く人々の高い意識と責任感であり、その積み重ねによって海上輸送の信頼が維持されています。

また、海上の安全は海運事業者だけで実現できるものではありません。行政機関による安全行政や海事振興施策、海上保安機関による警戒監視や救難活動、港湾関係者による安全管理、さらには海事関連団体による啓発活動など、多くの関係者の協力によって支えられています。本祈願祭は、そうした関係者が集い、安全への思いを共有する貴重な機会でもあります。大阪を中心とする海事クラスターを支える多くの方々との連携の大切さをあらためて実感する場となりました。

大阪は古くから「天下の台所」として栄え、その発展は港と海運の歴史と切り離すことができません。今日においても大阪港は物流を支える重要なゲートウェイであり、多様な海事産業が集積するわが国有数の海事都市です。だからこそ、地域の海事関係者が一体となって安全文化を守り育てていくことが重要であり、その象徴的な取り組みのひとつが本祈願祭であると考えています。

大阪船主会は今後も関係行政機関、関係団体との連携を一層深めながら、海上安全の確保と海事産業の健全な発展に取り組んでまいります。そして海の日海上安全祈願祭を通じて、安全意識の向上と海事関係者相互の結束を図り、海に関わる全ての人々の安全と発展に貢献していきたいと考えています。

海事関係功労者表彰・「海の日」祝賀会 ～海事産業発展への功績を称えるとともに、その受賞と「海の日」を祝う～

公益社団法人近畿海事広報協会



２０２６年「海の日」にあたり、大阪では、７月２２日（水）にホテルプリムローズ大阪において、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が開催され、引き続き、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日」祝賀会を同ホテルにおいて、受賞された方々を中心にご同伴ご家族・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してこられた方々への感謝を表し、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着することを願い開催をいたしました。

海事関係功労者表彰は、海運・造船・港湾などの海事産業や海上保安の各分野で多年にわたり業務に精励された方々、また、海や海岸の環境を良くするため、地域で活動されている方々等を「海の日」に表彰するものです。式典では、高市首相からのメッセージが代読された後、服部近畿運輸局長から式辞として、「海運、造船、舶用工業、港湾、倉庫などの海事産業は、平時・非常時を問わず物資の安定輸送を支え、国民の暮らしや我が国経済の基盤として重要な役割を果たしている。海事産業の発展や海上交通の安全確保は、皆様の長年のご尽力、ご活躍あってこそ」と受賞された方々のこれまでのご功績に謝意を述べられました。今回、受賞された方々は、近畿運輸局関係では、国土交通大臣表彰８名、感謝状１名、近畿運輸局長表彰５０名、海上保安関係では、海上保安庁長官（感謝状）２名、第五管区海上保安本部長（感謝状）６名、大阪海上保安監部長（感謝状）２名、和歌山海上保安部長（感謝状）３名の方々でした。



引き続き、約１３０名の方々に集っていただいた「海の日」祝賀会では、冒頭、星野当協会会長より挨拶として、お祝いのメッセージと共に、海の日についても触れていただきました。

「海の日」については、「海の恩恵に感謝し、海洋国家である日本の繁栄を願う日」として、国民の祝日になったのは１９９６年でして、２００３年からは７月の第３月曜日になっています。２００７年には、「海洋基本法」が制定され、そこで「海の日」には海洋について国民の理解と関心が深まる行事を実施することが定められ、その後、「海の日」、また、海の日を含む７月を「海の月間」として、その間、民間企業、政府、大学といった産・官・学が協力した様々なイベントが開催されるようになっております。なお、祝日になる前は、１９４１年から７月２０日が海の記念日とされておりまして、この日付は、明治天皇が明治９年東北ご巡幸の帰途、灯台視察船 明治丸 で、青森から函館を経て横浜にご安着された日に由来します。

また、この海の日が祝日になったのを記念して、「海の日」の旗（ロゴマーク）がつくられております。



この旗（ロゴマーク）は、日ごろ私たちが恩恵を受けている海に感謝し、海を大切にしようという気持ちの象徴です。旗（ロゴマーク）は、１９９５年に一般募集したデザインの中から、最優秀賞に選ばれた作品で、折り紙の帆船をデザインしたものです。色は赤、青、緑の光の３原色が用いられ、黄色は太陽の光を象徴し、ロマンチックいっぱいの大海を美しくイメージしています。

近畿海事広報協会では、皆様方のお力添えをいただきながら、国民の皆様に船や港に関わる職場で働く人たち、また、国民生活を支えている海事産業や物流産業に目を向け、理解していただけるような活動、例えば、小中学生を対象として海事施設見学や乗船体験を行う体験型学習会「海の教室」等に引き続き取り組んでまいります。

2030年問題と2050年カーボンニュートラルを見据えて── 海上モーダルシフトが拓く持続可能な物流の未来

大王海運株式会社

弊社は１９８５（昭和６０）年、愛媛県四国中央市に設立され、「海上運送業」を事業の中核として歩んでまいりました。おかげさまで創立４０周年を迎えることができました。今回は、堺泉北港をはじめ、千葉港・宇野港・三島川之江港、和歌山港の５港を結ぶRORO船事業の取り組みと、急変する物流環境における海上モーダルシフトの役割についてご紹介します。

1. 時代とニーズの変化、当社船隊の変遷

「モーダルシフト」とは、トラックなど自動車による貨物輸送を、環境負荷が小さく大量輸送が可能な鉄道や船舶へ転換する取り組みです。現在、この重要性はかつてない高まりを見せています。

１）２０５０年カーボンニュートラルへの貢献

サプライチェーン全体のCO2排出量削減（Scope ３）は、荷主企業様にとっても最重要の経営課題です。長距離大量輸送を担う海上輸送への転換は、２０５０年の脱炭素社会実現に向けた実効性の高いアプローチとなります。

２）「２０２４年問題」から「２０３０年問題」へ

労働時間規制の強化に加え、ドライバーの高齢化や深刻な人手不足により、２０３０年には大幅な輸送力不足が懸念されています。いまやモーダルシフトは単なる環境対策にとどまらず、「将来にわたって自社の物流を維持・継続するための必須手段」としてご相談・ご利用が増加しています。

こうしたニーズに応えるため、当社では２０２１年に２隻を大型船へリプレースし、輸送能力を従来比約１.４倍に拡大しました。さらに２０２５年には堺泉北港～千葉港航路へ１隻を追加投入し、現在は４隻体制で安定的な輸送力を提供しています。

2. ご利用事例～海陸一貫輸送による物流効率化～

当社がRORO船事業を開始して２１年目となり、国土交通省等の「物流総合効率化法」の認定を受けた事例も数多く生まれています。「集荷～海上輸送～配送」を一体の物流として最適化することで、CO2削減とドライバーの負担軽減（運転時間削減）を高い水準で両立させています。

〈ご利用事例〉

対象貨物 / 年間輸送規模 /CO2排出削減率 / 運転時間削減率

① 関西→東北（原料輸送）約８３３台（１６,０００トン）１６.７％削減６０.３％削減

② 大阪→千葉（棒鋼輸送）約１００台（２,０００トン）３４.０％削減９０.４％削減

③ 京都～茨城（建築資材輸送）約６０台（２,０００トン）２２.５％削減７４.５％削減

3. ニーズに応じた多様な輸送形態

海陸一貫輸送を軸としながらも、荷主企業様の多様な運用スタイルに合わせた柔軟なサービスをご用意しています。

１）海上輸送のみのご利用

荷主様側でシャーシや集配を手配いただき、冷凍シャーシなどの特殊車両を海上輸送する形にも対応。



2)有人航走の活用

大型設備など陸上輸送が難しい貨物に対し、牽引車と乗務員がセットで乗船。海上移動時間を法令上の「休息時間」として有効活用できるため、下船後すぐに安全な輸送を再開でき、全体の運行効率化につながります。



4.「共存共栄」で構築する持続可能な物流

RORO 船事業は陸上輸送事業者様と「競合」するものではなく、互いの強みを活かし合うパートナーです。当社は事業開始当初から「共存共栄」を掲げ、陸上輸送事業者様とともに日本の物流を支える姿勢を大切にしてきました。また、平時の環境対策・ドライバー不足対策にとどまらず、災害や事故、道路規制といった有事における BCP(事業継続計画)の観点からも、代替輸送手段としての強みを発揮します。他社との連携による「Sea & Rail」など、海・陸・鉄道を組み合わせた強靭で柔軟な輸送ネットワークの構築を推進しています。２０３０年問題による輸送力の逼迫、そして２０５０年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化により、物流を取り巻く環境は今後さらに厳しさを増します。だからこそ、各輸送手段が競い合うのではなく、互いに補完し合う「共存共栄」の精神が欠かせません。これからも当社は、社是である「誠意と熱意」を胸に、物流事業者の皆様とともに知恵を出し合い、平時にも有事にも対応できる持続可能で強靭な物流体系の構築に貢献してまいります。

「Seatrade Cruise Global 2026」に参加しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課

大阪港湾局では、オール大阪として「お断りゼロ」の実現を目指し、府市一体となって堺泉北港・大阪港へのクルーズ客船誘致に取り組んでいます。取組の一環として、令和８年４月１４日(火)から１６日(木)にアメリカ合衆国フロリダ州マイアミで開催された国際クルーズ見本市(Seatrade Cruise Global２０２６)に参加しました。

同見本市では日本各地から１５港の関係者が集まって日本ブースとして出展を行い、それぞれ割り振られたミニカウンター及び共同使用の商談ブースを利用し、PRを実施しました。大阪港湾局のミニカウンターでは、資料や観光パンフレット、動画を利用して、大阪みなと(大阪港・堺泉北港)や大阪府域の観光地等のPRを実施しました。

１４日の午後には日本ブース内でネットワーキングイベントが実施され、クルーズ船社の担当者と各港の担当者が活発な交流を行いました。また、イベント中には空手パフォーマンスも行われ、多くの観覧者が集まって楽しんでいました。

商談ブースでは、随時クルーズ船社とのマッチングや商談を行い、寄港地選定に関わる各クルーズ船社のキーパーソンに堺泉北港及び大阪港の魅力をPRしました。

３日間の出展を通じ、船社のキーパーソンと直接顔を合わせてより深いコミュニケーションを取ることで関係性の構築を図ることができたほか、他港湾の担当者ともネットワークができ、誘致活動の最新情報や港間連携の情報を入手することができました。

大阪港湾局では今後も引き続き、府市連携による大阪みなとへのクルーズ客船の誘致を図ることにより、地元市町の活性化や大阪の観光振興に貢献してまいります。



日本ブースの様子



大阪みなとのミニカウンター

海の写真コンクール、中学生海の絵画コンクール　府知事賞のご紹介

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課

公益社団法人近畿海事広報協会が主催する、「海」をテーマにした写真を募集する「第４８回海の写真コンクール」並びに、海の恩恵や海事産業について関心をもってもらうため、次代を担う中学生から募集を行う「第６３回中学生海の絵画コンクール」が行われました。

近畿運輸局長賞等とともに、大阪府からも大阪府知事賞を授与しており、海の写真コンクールでは溝端 敬子さんが、中学生海の絵画コンクールでは徳田 さくらさんが、それぞれ受賞されました。

また、海の写真コンクールにおいては、大阪府知事賞の受賞者の方には、一般社団法人大阪府港湾協会からも同協会賞（賞金）が授与されました。

● 他の受賞作品は公益社団法人近畿海事広報協会ホームページからご覧いただけます。
http://kinkikaiji.sakura.ne.jp/

○第４８回海の写真コンクール



特選（大阪府知事賞）／溝端 敬子さん
【夫婦船】

○第６３回中学生海の絵画コンクール



銀賞（大阪府知事賞）／徳田 さくらさん
【虹色のクジラ】

貿易実務セミナーを実施します！

堺泉北港港湾振興連絡協議会

港湾関連企業の皆様を対象に、貿易実務セミナーを開催します。

貿易取引の流れや貿易書類の作成・読取をはじめ、実際の現場で発生するトラブル事例やリスク対策など、実務に役立つ幅広いテーマを取り上げます。これから貿易業務に携わる方はもちろん、既に実務経験のある方にも参考となる内容となっております。ご参加をお待ちしています！

【日程】全日程 オンライン形式 で開催します！

①11/24（火）13:00～17:00　貿易書類の作成・読取講座＜前半＞
内　容：貿易取引の流れ、契約書、信用状（L/C）など

②11/30（月）13:00～17:00　貿易書類の作成・読取講座＜後半＞
内　容：Invoice(I/V)、Packing List(P/L)、船荷証券（B/L）など



③12/15（火）13:00～17:00　貿易トラブル事例と対策・リスク回避策講座＜前半＞
内　容：輸出契約・運送・船積み書類のトラブル事例、チェックポイントなど

④12/18（金）13:00～17:00　貿易トラブル事例と対策・リスク回避策講座＜後半＞
内　容：保険・通関・代金回収のトラブル事例、チェックポイントなど

【講　師】　株式会社グローバル・ビズ・ゲート　代表取締役 池田隆行氏
【受　付】　近日中に受付開始予定です。募集開始の際は、チラシ等にて改めてお知らせいたします。
【お問合せ先】　電　話：0725-21-7203　メール：sakaisenboku@fship.or.jp

ポートニュース
PORT NEWS

「大阪湾クルーズ」を実施しました

大阪港湾局 計画整備部 振興課



阪九フェリー「いずみ」

大阪港湾局では、令和８年７月４日（土）に堺泉北港に就航する阪九フェリー様にご協力いただき、フェリーの魅力をPRする「大阪湾クルーズ」を実施しました。

本イベントは、来場いただいた方に乗船体験を通じて旅客船の魅力を感じてもらうとともに、海に関わる仕事に興味をもってもらうよう実施しています。今年度は、定員５００名の募集に対し、計６５,７８０名という多数のご応募をいただきました。

クルーズは阪九フェリー様の船舶「いずみ」が、泉大津フェリーターミナルを出港し、関西国際空港付近を通過、大阪湾を周遊し帰港する約２時間３０分のルートで行われました。船内では、マジックショーやじゃんけん大会、各団体（大阪港湾局／阪九フェリー／泉大津市／高石市／堺海上保安署）から出題するクイズラリー等の様々なイベントを開催し、たくさんの方が参加されました。

船内では、阪九フェリー様の「ふねこ」のほか、大阪府の「もずやん」、泉大津市の「おづみん」、高石市の「てんにょん」、堺海上保安署の「うみまる」の各団体のマスコットキャラクターが随時登場し、参加者は写真撮影を楽しんでいました。イベント中は船内レストランや売店も営業を行い、食事や買い物を楽しむ参加者も多くいました。

また、堺海上保安署にご協力いただき、同署が保有する巡視艇「みのお」がフェリーに並走して展示放水を行い、多くの方が船上から観覧しました。船内には堺海上保安署に加え、泉大津市と高石市のブースもそれぞれ設けられ、海に関わるしごとや堺泉北港の近隣市に興味をもってもらうきっかけづくりも行われました。

イベント後のアンケートでは、「今までフェリーに乗ったことがなかったので、実際に客室やレストランなどの施設を見学できて、フェリーでの旅行をしてみたいと感じた」、「フェリーの旅も快適そうで、時間も有効に使えそうでこれからの旅行計画の選択肢に入れたいと思った」といったお声をいただきました。また、９割を超える参加者から「本イベントを通じて今後フェリーの活用を考える」との回答がありました。



キャラクターによるお見送りの様子



巡視艇「みのお」の展示放水の様子

堺の夏の風物詩「堺大魚夜市」が開催されました

堺大魚夜市実行委員会

令和８年７月３１日(金)、堺の夏の風物詩である「堺大魚夜市」(主催：堺大魚夜市実行委員会)が大浜公園で開催されました。今年は「元気発信。おいでよ堺！」をテーマに実施され、約１５万人もの来場者が訪れ、会場は終日大きな賑わいを見せました。大阪・堺市の夏を代表する「堺大魚夜市」は、約７００年もの歴史を誇る伝統行事。その起源は、もともとは、海の恵みに感謝し豊漁を祈るため、漁師たちが市場を開いたことが始まりとされ、今もその熱気は色あせることなく受け継がれています。長い歴史の中で受け継がれてきた伝統と、市民や来場者が一体となって楽しめる賑わいが魅力であり、毎年多くの人々が訪れる堺市を代表するイベントとなっています。







このほかにも、夜市には多彩な屋台や企業PRブース、堺ならではのグルメが軒を連ね、平日の開催でありながら多くの来場者で賑わいました。

堺大魚夜市最大の見どころは、漁港さながらの迫力を体感できる名物「魚のセリ」です。会場には複数のセリ台が並び、「安いよ、皆買うてや！」という威勢の良い掛け声が飛び交う中、鯛やホタテなどの新鮮な魚介類が次々と競りにかけられました。参加者は活気あふれる雰囲気の中でセリを楽しまれていました。

また、ステージでは地元団体によるダンスや歌のパフォーマンスなどが披露され、会場を華やかに彩りました。さらに、昨年度に引き続き打上花火が堺旧港で実施されました。音楽とシンクロしたリズミカルでダイナミックな演出に加え、海辺の夜空を鮮やかに彩る美しい花火が約1万人の観覧者を魅了し、大きな歓声が上がりました。

歴史と伝統、そして新たな魅力が融合した堺大魚夜市は、堺の豊かな文化や活気を広く発信する機会となりました。当日は多彩な催しを通じて多くの来場者が堺の魅力を満喫し、会場は夜遅くまで笑顔と熱気に包まれました。





泉大津フェニックスで野外イベントが開催されました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課/事業企画・防災課 地域調整担当

大阪港湾局、泉大津市、泉大津商工会議所、大阪湾広域臨海環境整備センター、堺泉北埠頭株式会社で構成する「泉大津フェニックスにぎわいづくり委員会」では、音楽イベント等を通じて、「泉大津フェニックス」のPR活動等に取り組んでいます。

【野外コンサートについて】



令和８年８月、泉大津フェニックスにおいて音楽イベント「RUSHBALL ２０２６」が開催されました！

本委員会では、泉大津フェニックスの認知度向上とイメージアップを目的として、廃棄物最終処分場としての役割や取組みを紹介するパネル展示やクイズ企画を実施するとともに、オリジナルタオルの配布を行いました。

また、来場者の安全確保と円滑なイベント運営を図るため、会場周辺の動線整理や関係事業者への事前周知・情報発信を行い、周辺の事業活動に支障が生じないよう配慮した環境づくりに努めました。

当日は、気温が３５度を超える厳しい暑さとなりましたが、多くの来場者でにぎわい、会場は終日にわたり活気に包まれました。ＰＲ ブースにおいても来場者参加型のクイズ企画に多くの方々にご参加いただき、パネル展示とあわせて泉大津フェニックスへの理解と関心を深めていただく機会になったのではないかと思います。

今後も引き続き、泉大津フェニックスのさらなる認知度向上とにぎわい創出に向けた取組みを進めてまいります。

◆8月29日(土)、30日(日)
RUSHBALL 2026（主催：株式会社グリーンズコーポレーション、読売テレビ放送株式会社）

阪南港で小学生を対象とした稚魚放流・船上見学会を実施しました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 総務振興課

【親しむ阪南の海 ～稚魚放流体験及び船上見学～】



阪南港港湾振興連絡協議会（構成：忠岡町・岸和田市・貝塚市・大阪府）では、令和８年９月１７日（木）、１０月５日（月）、１０月８日（木）の計３日間、岸和田カンカンベイサイドモールの海沿い（岸和田旧港）において、「親しむ阪南の海～稚魚放流体験及び船上見学～」イベントを開催しました。

このイベントは、今年１１月１４日、１５日に岸和田市及び泉佐野市で開催される「第４５回全国豊かな海づくり大会」の機運醸成を図るとともに、地域産業を支える港湾の役割への理解を深めてもらうことを目的に実施。



岸和田市及び貝塚市内の小学３年生から５年生までの計８２名の児童が参加し、全国豊かな海づくり大会の記念リレー放流を実施。

アコウとも呼ばれる高級魚の稚魚キジハタ1,２００尾の放流を通じて、「栽培漁業」について理解を深めました。また、大阪港湾局の船「はごろも」に乗船して阪南港をめぐり、海上から「ちきりアイランド（阪南２区）」や、「新貝塚埠頭」などの港湾施設を見学するとともに、船の種類や物流の仕組みなどを学びました。参加児童からは、「放流した稚魚が元気に育ってほしい。」、「海を守る船や港の仕事を学べて楽しかった。」、「また船に乗りたい。」といった声があり、港湾の役割に対する理解の促進に繋がりました。

本イベントの開催にあたり、関係機関の皆様のご協力を賜り、誠にありがとうございました。

当協議会では、引き続き、阪南港の利用促進や港湾振興、地元経済の活性化に向けた取組みを進めてまいります。

堺泉北港でテロ対策総合訓練を実施しました！

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 事業企画・防災課危機管理担当

堺泉北港保安委員会（大阪港湾局、海上保安署、警察署等により構成）は、『令和８年度堺泉北港テロ対策総合訓練』を、８月６日（木）に大浜５号岸壁で実施しました。

本訓練は、有事の際の各機関における対応措置、手順等を確認し、事案対処能力の向上を図るとともに、関係機関相互の連携・協力体制を強化し、保安体制のさらなる深化を図ることを目的として毎年実施しています。

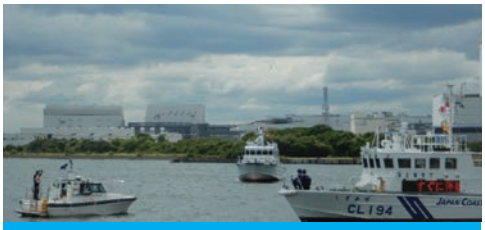
内閣官房から「入港する貨物船にテロリスト関係者が乗船している可能性がある。」との連絡が入った想定のもと、海上では逃走する小型船を海上保安署の巡視艇と水上警察署の警備艇、税関の税関艇が連携・追跡し、テロリストの身柄を確保する訓練を行いました。また陸上では、出入管理を強化するとともに、貨物船より発見された不審物等について、税関がＸ線車両を用いて検査を、検疫所が乗組員の検疫を、出入国在留管理局が入国審査を実施し、入国審査場から逃走したテロリストを警察が制圧する訓練を行いました。

堺泉北港保安委員会では、今回の訓練成果をもとに、より一層の保安体制の向上を目指してまいります。

最後に、訓練に際しまして、タグボートをご提供いただきました大阪府タグ事業協同組合や、当日の荷役にご配慮をいただきました事業者をはじめ、関係者の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き港湾保安対策へのご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



陸上でのテロリスト制圧



海上でのテロリスト制圧

防災・減災への備え～水門等操作訓練の実施～

大阪港湾局 泉州港湾・海岸部 建設・施設保全課設備担当

堺市から岬町に至る約７４kmの海岸線には、数多くの水門、樋門、陸閘や排水機場という防災施設があります。これらの防災施設は津波・高潮が発生したときに稼働させ、浸水被害から街を守るためのものです。

災害発生時には迅速かつ確実な操作が求められるため、施設の機能維持と操作者の操作力が必要不可欠です。ひっ迫する状況下においても焦らず平常心で操作できるよう習熟することを目的として、本格的な台風襲来期を迎える前のこの時期に、各市町の水門等操作担当者とともに、操作訓練を実施しました。

南海トラフ地震や激甚台風の脅威が叫ばれる中、延べ日数７日、延べ人数１８１名が参加し、円滑な操作の習熟に努めるとともに、災害に備える意識、操作に対する責任感をより一層高めました。

道路閉鎖に多大なる御指導、御協力をいただきました泉大津警察署、岸和田警察署、貝塚警察署、泉佐野警察署ならびに泉南警察署の皆様に心より御礼申し上げます。

実施日	市町	対象施設（★：道路封鎖を伴う）
5月27日(水)	貝塚市	三昧川樋門、見落川水門、北境川水門、北境川排水機場
5月29日(金)	堺市	竪川水門、古川水門
6月４日(木)	岬町	岬No.72, 73 陸閘*、朝日川樋門、新浜川排水機場、岬No.92 樋門
6月10日(水)	泉佐野市	泉佐野No.3-1 陸閘*
	田尻町	田尻川水門、田尻川排水機場
	泉南市	紺谷川水門
	阪南市	車屋川樋門
6月11日(木)	泉大津市	堅川樋門、緑川樋門、堅川緑川排水機場、新川水門、新川排水機場、八軒川樋門、八軒川排水機場
6月16日(火)	貝塚市	貝塚No.5－4 陸閘*
6月23日(火)	忠岡町	忠岡No.2－2 陸閘*
	岸和田市	岸和田No.1－2 陸閘*、天の川水門



工事作業許可申請･行事許可申請 ～電子申請を開始しました～

大阪海上保安監部堺海上保安署

工事作業許可申請・行事許可申請

～ 電子申請を開始しました ～

NEW

e-GOV 電子申請

令和８年５月11日（月）からｅ－Ｇｏｖにおいて**工事作業許可申請・行事許可申請※**の受付を開始しました。

※港則法第31条、第32条に基づく手続き

ご利用にあたって

詳細はe-Govホームページ又は
海上保安庁ホームページをご確認ください。

【e-Govホームページ】

https://shinsei.e-gov.go.jp/

【ｅ－Ｇｏｖ利用者サポートデスク】
TEL：050-3786-2225

【海上保安庁ホームページ】

https://www.kaiho.mlit.go.jp/syoukai/soshiki/toudai/navigation-safety/e-shinsei.htm

堺海上保安署　TEL　072－244－5076

金地金や金製品の密輸入についての情報提供依頼

大阪税関 堺税関支署

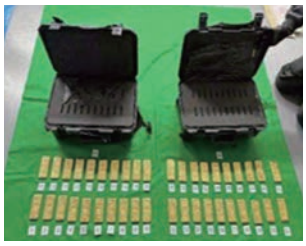


税関では、金地金や金製品の密輸入についての情報提供もお願いしています。
金は、様々な形状に加工・変形・メッキ等され、密輸されています。

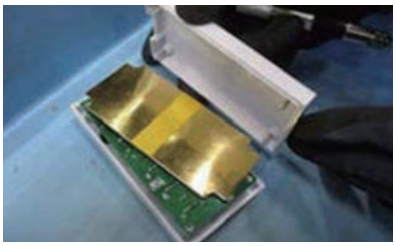
【摘発の一例】

＜フェリーから海上投下された金＞





＜充電器内に隠匿された板状の金＞



＜丸カン・Dカン＞



- 何か貨物の入っているような漂流物・漂着物を発見した。
- 輸入者からの問い合わせが頻繁にある。等

普段と違う「何かおかしな光景やモノ」を目にした際には、最寄りの税関官署、又は税関密輸ダイヤルへご連絡ください。

密輸ダイヤル（シロイ クロイ） **0120-461-961**



税関 Japan Customs

詳しくはWEBサイトで！

税関 密輸 検索

税関：密輸情報提供サイト
https://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm

税関ホームページ
https://www.customs.go.jp/

新規入会会員様

新規入会 | **関西クリアセンター株式会社**



KANSAI 産業廃棄物中間処理業のエキスパート
関西クリアセンター

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町三丁 27 番地 17
TEL：072-280-1138 FAX：072-280-1236

取扱品目
燃え殻 汚泥 廃油 廃酸
廃アルカリ 廃プラスチック類
紙くず 木くず 繊維くず
動植物性残さ ゴムくず
金属くず ガラスくず
鉱さい がれき類 ばいじん



会員様紹介コーナー

港から世界へ――中古車流通を支えるIAA大阪

株式会社アイ・エー・エー

大阪・泉大津の地から、国内外の自動車流通を支える

株式会社アイ・エー・エーは、大阪府泉大津市を拠点に中古車オークション事業を展開しています。当社が運営する「IAA大阪」は、西日本最大規模の中古車輸出港（大阪泉大津港）に隣接した唯一無二の中古車オークション会場です。

日本車は、高い耐久性・信頼性・燃費性能に加え、車検制度に裏付けられた品質の高さから、国内だけでなく海外でも高い評価を受けています。近年は中古車の海外需要も高まっており、日本から世界へ中古車を送り出す流通インフラの重要性は、ますます高まっています。

IAA大阪は、こうした国内外の中古車流通を支える重要な拠点の一つとして、出品店様と落札店様をつなぐハブの役割を担っています。





IAA 大阪アクセス

国際貿易港に隣接する、IAA大阪ならではの強み

IAA大阪の大きな特徴の1つは、約３万８千坪の広大な敷地を有し、最大約４,５００台の車両を保管できる会場の大きさにあります。又、自動車ディーラー様、中古車買取・販売店様、レンタカー・リース会社様など、さまざまな事業者様から車両が集まることも特徴の一つです。毎週水曜日に開催されるオークション（セリ）を通じて、落札車両は登録手続き等を経て、新たなユーザー様のもとへと送り出されています。

上記に加えて、国際貿易湾に隣接する立地は、特に海外へ輸出される車両にとって大きな意味を持ちます。



通常オークションで落札された車両が輸出される場合、港までの輸送が必要となりますが、IAA大阪では、会場と港が隣接していることから、車両を円滑に輸出へと繋げることが可能となります。

「オークション会場」と「国際貿易港」が隣接することで、国内での中古車流通とその先にある海外への輸出を一つの物流圏の中でつなぐことが出来る、これこそがIAA大阪が大阪・泉大津に立地する最大の強みです。

――国内オークション会場で唯一、IAA会場内に保税ヤードを保有――

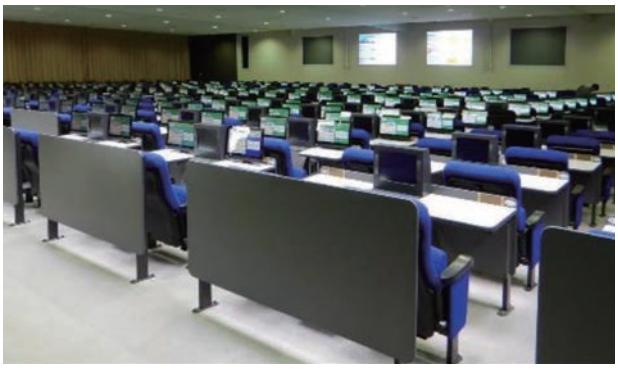


成長する中古車オークション市場

IAA大阪では、近年、出品台数・成約台数ともに大幅な成長を遂げており、成約平均単価も大きく伸長しています。

また、２０２３年度には関西圏唯一の「レンタリースコーナー」を新設。高年式・過走行車両を中心に多様な車両が出品されることで、出品者・落札者双方にとって新たな取引機会を生み出しています。

更に、２０２５年にはプレミアムコーナー（走行距離１０万km未満、評価点４点以上）、２０２６年にはユーザー軽コーナー（ユーザー買取・軽自動車）を新設し、小売り向け車両の取込にも力を入れております。


バイヤー席（POS 席）

当社が大切にしているのは、単に車両の売買を仲介する「オークション会場」を運営することではありません。

出品者様にとっては「大切に使用してきた車両を、より価値のある形で次のユーザーへつなぐ場所」。落札者様にとっては「国内外の市場で求められる車両を見つける場所」。

その双方にとって「足を運んでもらえる会場」を目指し、身近で、信頼され、利用する皆さまに喜ばれるオークション会場づくりを目指しております。

大阪・泉大津から世界へ

２０２５年日本からの中古車輸出台数は、約１７３万台を超え、過去最高を記録しました。その中、泉大津港は約１８万台を超え、国内約１０.６％のシェアにまで成長しております。

IAA大阪は、今後も成長が見込まれる中古車輸出市場の中で、貿易車両に強いオークション会場としての役割を追及して参ります。

大阪・泉大津という場所だからこそ実現できる「中古車輸出港と自動車流通の融合」。

それは、当社が大切にしている事業基盤であると同時に、大阪府の港湾エリアが持つ可能性の一つでもあると考えています。

泉大津港　中古車輸出台数実績

➢2025年は約185千台となり、国内約10.6%のシェア
――1位マレーシア、2位タンザニア、3位スリランカ――

◆2025.1-12月累計
全　国　中古車輸出　ベスト5

ランク	国名	FY25 1-12月累計台数
1	U.A.E.	252,637 台
2	ロシア	186,584 台
3	タンザニア	117,489 台
4	チリ	83,106 台
5	ケニア	77,205 台
全国　計		1,738,604 台

◆2025.1-12月累計
泉大津港　中古車輸出　ベスト5

ランク	国名	FY25 1-12月累計台数
1	マレーシア	17,335 台
2	タンザニア	16,731 台
3	スリランカ	16,158 台
4	ケニア	14,655 台
5	ニュージーランド	13,983 台
全国　計		184,698 台

これからも、地域と世界をつなぐ存在へ

今後も中古車の国内流通・海外輸出が拡大していく中で、オークション会場は単なる売買の場にとどまらず、より効率的でより信頼性の高い自動車流通を支える役割が求められます。

私たちIAA大阪は、今後も出品者・落札者の皆さまに選ばれる会場づくりを進めるとともに、大阪・泉大津の港湾機能と自動車流通のさらなる連携を目指していきます。

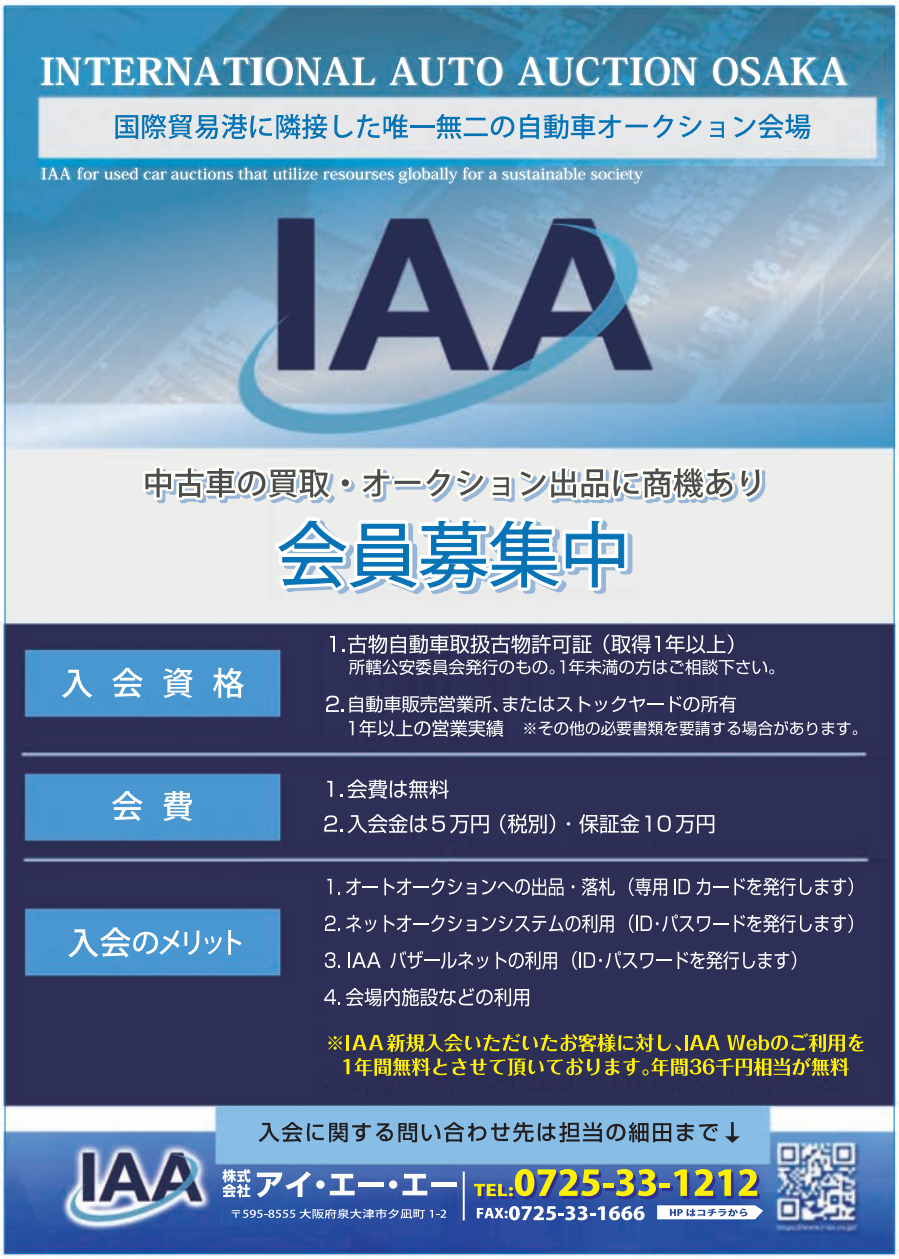
「泉大津港から世界へ」。

大阪泉大津港に隣接するIAA大阪だからこそできる中古車流通の形を追求し、地域経済の発展と国内外の自動車流通に貢献してまいります。



輸出業者様との協業

――IAA大阪入会のご案内――



会員様紹介コーナー

まちづくりの総合コーディネート財団をめざして

公益財団法人大阪府都市整備推進センター

公益財団法人 大阪府都市整備推進センターの概要

公益財団法人大阪府都市整備推進センターは、２０２５年４月、大阪府の出資法人として、６０周年を迎えました。当センターは、大阪府域における都市計画の促進と向上発展、定住魅力あふれる良好なまちづくりに寄与するため、土地区画整理事業、市街地再開発事業、市町村道路施設点検等支援事業、建設リサイクルによる新たな国土の造成と造成後のまちづくり事業、その他の都市基盤整備に関する諸事業と住宅密集市街地等の市街地整備に資するまちづくり活動支援に関する諸事業を総合的に推進する公益財団法人です。

地域を先導できる提案力を有した「まちづくりの総合コーディネート財団」をめざし、令和８年３月策定の中期経営計画に基づき、良質で魅力あるあるまちづくりに取り組んでいます。

経営理念

地域を先導できる提案力を有した「まちづくりの総合コーディネート財団」をめざして、府や市町村と緊密に連携しながら、府域が抱える都市的課題の解決に貢献し、良質で魅力あるまちづくりの推進を図る。

5つの方向性

1.市町村等への技術支援によるまちづくり
2.住民・顧客ニーズに柔軟に対応したサービスを提供するまちづくり
3.大阪府施策の補完・代行的役割を果たすまちづくり
4.まちづくりの技術力・ノウハウ、マンパワーの蓄積と発揮
5.法人の持続可能性（人材・財務等）の確保

計画の目標

経営理念の実現に向けた「5つの方向性」に沿い、まちづくりを通じた地域の活性化を図っていくため、個別事業が持つ特性を活かしながら効率的・効果的な事業推進に取り組む。

中期経営計画（計画期間：令和８～12年度）の経営理念等

事業紹介

土地区画整理等支援事業



幹線道路沿道や鉄道駅周辺、既成市街地等、計画的なまちづくりが求められる地域を対象に、土地区画整理事業の準備組合を立ち上げるなど、まちづくりを具体化するまでの間、調査、計画立案をはじめ、まちづくりの合意形成や事業化の検討について専門的・技術的な立場から行政、地元まちづくり組織等を支援しています。また、土地区画整理事業の実施地区を対象に、換地計画・設計、実施設計、工事積算及び土地区画整理組合の運営、事業全体の包括的なマネジメントなど、行政、土地区画整理組合、業務代行者等を総合的に支援しています。

市町村道路施設点検等支援事業
市町村職員等技術支援事業



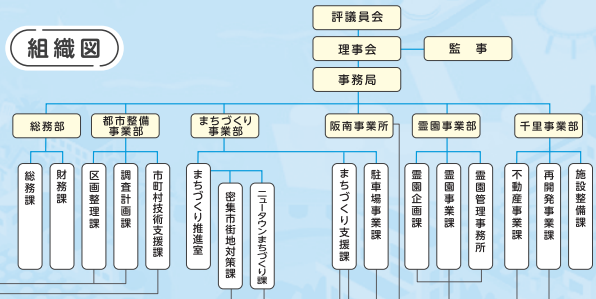
府及び市町村との三者協定（政令市を除く全ての市町村と協定締結済み）に基づき、市町村道路施設点検等の支援を実施しています。また、市町村職員を対象に、土木に係る調査、設計、施工、維持管理などの基礎的な技術研修を実施し、市町村職員の専門知識及び技術力の向上を支援しています。

密集市街地まちづくり活動支援事業



「地震時等に著しく危険な密集市街地」の全域解消に向けて、府や関係市と連携して危険密集解消サポート支援を行っています。また、防災街区整備事業等の面整備の事業化に向けた取組みに対し、人的・技術的支援を行っています。

組織図



近隣センターまちづくり事業



千里・泉北地区近隣センターの公共公益施設等の管理運営と貸付けを行うとともに、地元市へのオープンスペースの引継ぎ協議と貸付施設の譲渡協議を行いながら、地元市、地権者等の近隣センター活性化の取組みへの協力、支援を実施しています。

まちづくり初動期支援事業
まちづくり普及啓発事業



地域住民等が主体となったまちづくり活動を対象として、まちづくりの意識啓発からまちづくり構想の作成など初動期活動を支援するとともに、既成市街地の再編やリノベーション・再開発等につながる事業化検討支援にも取り組んでいます。

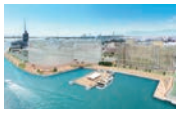
また、まちづくり調査研究やまちづくり情報の積極的な発信を実施するとともに、機関誌やニュースレターの発行、まちづくりアドバイザーの派遣等を通じた普及啓発を行っています。

駐車場運営事業



当センター所有地や高架道路下、河川敷等の公共用地の占用許可等を受けて有効活用し、迷惑駐車の防止や地域住民等の利便性の向上を図るため、駐車場を整備・運営しています。

公共空間まちづくり活用支援事業



堂島川賑わい創出や此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくりの支援を実施するとともに、同事業で培ってきた知識・経験とまちづくり全般に係るノウハウを活かし、公共空間を活用したまちづくりに取り組む市町村等への支援を実施しています。

不動産賃貸管理事業



千里北地区及び千里中央地区に所有する土地の貸付けや建物の管理運営を行うとともに、法人運営を支える重要な経営資源として最大限に有効活用できるよう、地元市等関係者と協議・調整を実施しています。また、千里北地区センターの再整備については、北千里駅前地区市街地再開発準備組合に地権者として引き続き参画するとともに、都市計画決定に向けた検討を準備組合として進めています。

大阪北摂霊園事業



千里ニュータウンの開発に合わせて、周辺地域の墓地需要に応えるため、大阪府企業局によって整備された霊園を1973年11月、(財)大阪府千里センター（現在の大阪府都市整備推進センター）に有償移管され、同センターが墓地の整備、維持管理・運営を実施しています。

環境共生型まちづくり事業



大阪港湾局の阪南港阪南2区整備事業（岸和田市沖での埋立事業）のうち、「まちづくり業務」及びまちづくり業務の前提となる「埋立造成業務」を環境共生型まちづくり事業として、建設発生土等の受入料金を財源に実施しています。

ちきりアイランド（阪南港阪南２区）における魅力あるまちづくりと港湾物流機能の強化に向けて

当センターは、大阪港湾局の『阪南港阪南２区整備事業』のうち、人や環境にやさしい魅力あるまちづくり及びその前段となる埋立造成を『環境共生型まちづくり事業』として実施しています。

阪南港阪南２区整備事業は、岸和田市沖合における港湾物流機能の強化・拡充、地域産業の活性化、緑地・干潟等の水辺環境の整備等を目的とした大阪港湾局の埋立事業です。全体面積は約１４０haで、大水深の岸壁や物流保管施設・製造業用地、清掃工場、緑地・干潟等が計画されています。



ちきりアイランド（阪南港阪南2区）の将来イメージ

■ 魅力あるまちづくり

当センターでは、大阪港湾局、岸和田市と連携し、ちきりアイランドの知名度・魅力向上、海辺の緑地・干潟を活かしたまちづくり、豊かな生物・海域環境の改善・創造、良好で安全安心な操業環境の形成などに取り組んでいます。

1. 知名度・魅力向上

平成１８年から実施してきた人工干潟観察会は地域主体の活動に移行・拡大し、令和７年度は、延べ約３５０名の子供たちや立地企業の社員の皆様が参加されました。引き続き、生き物観察ノートの提供など干潟保全活動を支援していきます。

更なる知名度向上に向け、地元岸和田市等で開催される「全国豊かな海づくり大会」におけるちきりアイランドや干潟保全活動の状況を紹介するパネル展示や動画上映、SNSの活用など様々な機会やツールを通じて、広く府民・市民・企業に対して情報発信していきます。





人工干潟観察会の様子

2.海辺の緑地・干潟を活かしたまちづくり

今後、造成される広大な緑地等について、民間活力など多様な手法・制度を活用した整備・持続的な管理運営のあり方を検討するとともに、脱炭素社会の実現と持続的な環境保全活動の両立を目的としたカーボンクレジット制度の導入に向けた調査を進めています。

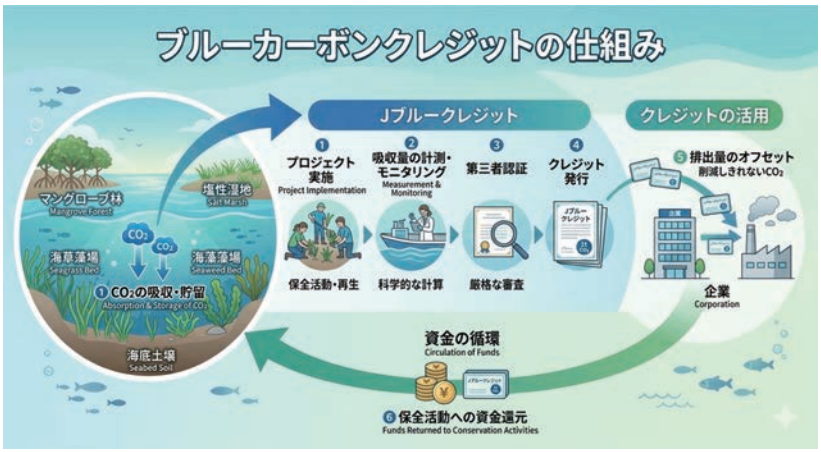




みなと緑地 PPP やアドプトなど多様な制度の導入検討



人工干潟の概要



人工干潟を対象としたカーボンクレジット検討

3.豊かな生物・海域環境の改善・創造

ちきりアイランド北側海域の環境創造を図るため、生物蝟集施設であるエコブロックの研究を行い、その効果を確認するとともに適切な配置案をとりまとめました。今後、実用化に向け研究成果の情報発信等を行います。



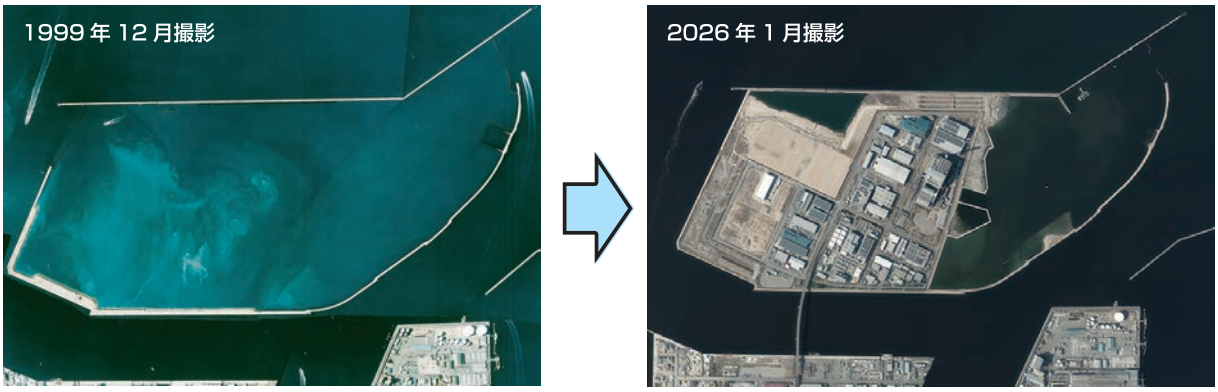
エコブロック蝟集効果の調査・研究

4. 良好で安全安心な操業環境の形成

これまで、地区振興団体（阪南２区連絡協議会）の設立支援、地区計画の検討、建設ハンドブック配布等を行ってきました。今後とも、阪南２区連絡協議会と連携を図りながら、産業エリアの良好で安全安心な操業環境の形成に向けた取り組みを進めます。

■ 港湾物流機能の強化に向けて

当センターは、大阪港湾局が取得した公有水面埋立免許に基づき、大阪府下の公共事業から発生する陸上建設残土や海域・河川の浚渫土砂を活用し埋立造成を行い、完成した土地を大阪港湾局へ引き渡しています。その後、大阪港湾局が道路等のインフラや港湾施設の整備を行い、物流関連企業や港湾貨物の誘致を行うなど港物流機能の強化を図っています。



埋立造成・企業立地の進展状況

最後に

阪南港の港湾物流機能の強化とともに、府下公共事業の進捗に寄与する建設残土等の受入業務にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。引き続き、周辺海域や地域への環境保全、船舶航行・交通安全に配慮しながら、工事を着実に進めてまいります。

また、ちきりアイランドにおける魅力あるまちづくりをより効果的に推進していくため、地域振興団体や環境保全団体、ボランティア、企業、大学等の研究機関、NPO など様々な皆様と一層連携を深め、積極的に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



まちづくり活動団体等の連携強化・活動イメージ



ちきりアイランドまちづくりプラットフォーム発足会

港とともに歩む60年　郵船港運の挑戦

郵船港運株式会社

第１章　会社紹介

1. 創業



郵船港運株式会社は、１９６６年の港湾運送事業法改正を背景として誕生した。法改正により港湾運送事業が登録制から免許制へ移行し、事業者には一定規模の人員、設備、取扱量などを備えた安定的な事業体制が求められることとなった。当時の港湾業界では、小規模事業者による過当競争や労働問題が生じており、事業者の集約と近代化が進められていた。

こうした環境のもと、日本郵船、川西倉庫、日本運輸（現 株式会社ユニエツクス NCT）の３社は、港湾近代化政策と改正法の免許基準に対応するため、１９６７年５月に新会社設立の覚書を締結した。同年７月には、川西倉庫大阪支店港運部門と日本運輸の大阪・堺両出張所の業務全部を新会社へ譲渡する契約が締結された。

郵船港運株式会社は資本金5,０００万円で設立され、創立時の出資比率は日本郵船４９.６％、川西倉庫４９.６％、個人株主０.８％であった。１９６７年１０月１日に営業を開始し、本社事務所を大阪市港区の日本郵船大阪支店大阪港事務所内に置くとともに、堺市の堺鐵鋼ビル内に堺支店を設置した。翌１９６８年には資本金を１億円へ増資し、港湾運送事業に必要な人員、設備、作業体制の整備を進めた。創業以来、港湾物流事業の発展とともに歩みを重ね、当社は２０２７（令和９）年１０月に創業６０周年を迎える。

2. 創業時の事業基盤

創業時には、川西倉庫および日本運輸から引き継いだ港湾業務を基盤として、次の業務を行っていた。

● 船内荷役　● 沿岸荷役　● はしけ運送　● 船舶代理店業務
● 貨物の受渡しおよび保管　● 堺地区における鉄鋼関連荷役　● 通関関連業務

１９６８年６月には、大阪港における一般港湾運送事業、はしけ運送事業および沿岸荷役事業の免許譲受が認可された。その後、はしけの増備、作業会社との連携、沿岸荷役部門の営業譲受などを進め、同年中に港湾関連事業を一貫して受注できる体制を整えた。１９６９年には定款に通関業を明記し、１９７０年５月に大阪税関長から通関業の認可を受けた。

3. 事業領域

事業領域として、「物流本部」では、総合物流コーディネーター、国際物流、国内定期輸送、「港運本部」では、日本郵船グループとしての港湾・海運関連業務を行っている。詳細については、以下の通り。



【物流本部】

物流本部は、荷主の物流全体を支える部門として、国内物流、国際物流、通関、倉庫･貨物管理および物流改善提案を担ってきた。

国内物流では、海上輸送と陸上輸送を組み合わせた複合一貫輸送を中心に、大型貨物、小口一般貨物、温度管理貨物、家電製品、住宅設備、建築資材、北海道・沖縄向けを中心とする内航貨物を取り扱ってきた。関西を起点に、関東、九州、北海道、沖縄などを結ぶ定期一貫輸送網を整備し、内航船、フェリー、コンテナ、トレーラー、

トラックを組み合わせた輸送サービスを展開してきた。

国際物流では、輸出入手続、輸出入通関、海上・陸上輸送の手配、貨物の保管・在庫管理、中古自動車の輸出手続、国際複合一貫輸送、NVOCC 業務、３PL および物流改善提案を担ってきた。１９９１年には内航・外航利用運送事業の認可を受け、NVOCC として国際複合一貫輸送に取り組める事業基盤を整えた。その後、WEB 在庫管理、輸配送手配、物流加工などへサービス領域を広げている。



【港運本部】

港運本部は、大阪港を中心に、船舶の入港から貨物の荷揚げ、保管、通関、搬出、船積みまでを現場で支える役割を担ってきた。

- ●一般港湾運送事業　●船内荷役・沿岸荷役　●コンテナターミナル運営
- ●コンテナ搬入・搬出、蔵置、バンプール管理
- ●船舶代理店業務　●船積み、荷揚げ
- ●中古自動車 保管、通関、船積み
- ●倉庫、上屋および荷捌き地の運営



創業時の在来船・はしけ中心の荷役から、南港の整備とコンテナ化に対応して、コンテナターミナル、物流センター、ヤード運営へと業務を発展させた点が特徴である。

第２章　阪神・淡路大震災時の助松埠頭コンテナヤード運用

1.震災発生と初動対応

１９９５年１月１７日に発生した阪神・淡路大震災では、郵船港運の施設そのものに大きな被害はなかったものの、社員の家族や家屋にも被害が生じた。会社は海路を利用し、阪神地区の社員、日本郵船神戸支店、川西倉庫、ユニエツクス（現 株式会社ユニエツクス NCT）へ救援物資を届けた。

神戸港が機能不全に陥ったため、本来神戸港を利用する貨物が大阪港へ集中した。震災翌日には港湾荷役緊急対策協議会が開催され、１月２０日から１か月間、日曜日にも荷役作業を行うことが決定された。会社は、急増する業務に備えて社員用の宿泊施設を確保し、社内緊急対策委員会を設置した。

2.助松埠頭の臨時コンテナヤード確保

震災後、輸出貨物への影響は比較的小さかった一方、輸入貨物に関する業務量は通常のほぼ２倍に増加した。各港運事業者も同じ状況に置かれたため、港湾施設の確保が困難となった。郵船港運は大阪府港湾局と交渉を重ね、１９９５年２月１日から次の用地を借用した。

区　分	借用面積
助松埠頭 A 岸壁用地	2,500 ㎡
背後地	9,312 ㎡
合　計	11,812 ㎡

この用地を、神戸港の機能低下に伴う緊急入港船とコンテナ貨物を処理するための臨時ヤードとして運用した。

3. 緊急船の受入れ

２月１０日、緊急入港の第１船である「P.SOPA」が泉北港へ入港した。これを皮切りに、泉北港には毎週２～３隻の緊急船が入港するようになった。

入港船の代理店・海務対応

● コンテナの揚げ積み　● 臨時ヤードへのコンテナ蔵置

● 輸入通関　● 貨物の搬出および国内輸送手配　● 夜間作業への対応

4. 泉北コンテナターミナル営業所の開設

２月１６日には、海務課と輸送課から各１名を配置し、ユニエツクス（現 株式会社ユニエツクス NCT）からの応援出向者を加えて、泉北コンテナターミナル営業所を正式に開設した。

神戸地区では被災のため通常業務を行えない状況であったことから、川西倉庫、ユニエツクス（現 株式会社ユニエツクスNCT）などから最大時約３０名が応援に入り、郵船港運の業務を補助した。夜間にはサーチライトでヤードを照らして作業を継続した。特に通関業務は混乱が大きく、連日の徹夜作業を余儀なくされた。

5. 臨時運用の終了

助松埠頭での臨時体制は、神戸港の機能を補完し、集中する輸入貨物を処理するため継続された。その後、港湾物流が一定の落ち着きを取り戻したことから、１９９５年４月末に震災緊急対策委員会を解散し、泉北コンテナターミナル営業所も閉鎖した。６月には大阪市港湾局の大阪港利用緊急対策室も解散した。

第３章　大阪港・堺泉北港での業務内容と立ち位置

1. 大阪港における業務展開

郵船港運にとって大阪港は、創業の地であると同時に、港運、国内物流、国際物流を結び付ける中核拠点である。１９６９年に大阪港で C-1 岸壁、C-2 岸壁の供用が開始され、コンテナ時代が始まった。会社はその後、南港埠頭営業所、南港内貿埠頭営業所、南港コンテナ上屋営業所などを開設し、港湾施設の整備と貨物輸送のコンテナ化に対応した。



業務区分	主な内容
コンテナターミナル業務	コンテナ船の荷役、搬入・搬出、蔵置、ヤード管理、冷凍コンテナ対応
内航物流	北海道・沖縄航路を中心とする RO/RO 船やコンテナ併用船による一貫輸送
倉庫・上屋業務	輸入貨物、混載貨物、食料品、原材料等の荷捌き、保管、入出庫管理
通関・国際物流	輸出入申告、貨物管理、国内配送手配

１９９３年には南港 C-6 で自営ターミナル業務を開始し、震災後は C-2、C-9 へ移転した。２００３年には夢洲 C-１０ターミナルの自社運営に踏み切り、郵船グループの危機管理対応と国内ターミナル事業を支える役割を担った。

2. 大阪港における立ち位置

大阪港における会社の立ち位置は、単なる荷役会社ではなく、次の機能を組み合わせた港湾物流の総合オペレーターとして業務を行っている。

- 船社と荷主をつなぐ窓口：船舶代理店、港湾荷役、通関、保管、国内配送を連携
- 大阪港のコンテナ化を現場で支える事業者：ターミナル業務を通じ、港の整備や航路の変化に対応
- 内航と外航を結ぶ物流拠点：北海道・沖縄向け国内物流と輸出入貨物の国際物流の双方を大阪港で取り扱い
- 神戸港の機能低下時に大阪港の代替機能を支えた事業者：阪神・淡路大震災時、本来神戸港を利用する貨物を大阪港・泉北港で受け入れ

3. 堺泉北港における業務展開

堺泉北港では、時代ごとに異なる貨物需要に対応し、助松埠頭、泉大津物流センター、夕凪ヤードなどへ業務を広げた。

【助松埠頭・泉大津物流センター】

１９９７年、NYK グループの近海郵船株式会社の大阪・苫小牧航路の寄港地が大阪南港から泉北港へ移転したことに伴い、当社は助松埠頭に泉北営業所を開設した。泉北営業所では、船舶代理店業務のほか、新聞用巻取紙などの貨物を取り扱っていた。

翌１９９８年４月には、製紙会社向け新聞用紙の南大阪地区における供給拠点として泉大津物流センター営業所を開設し、近海郵船株式会社から業務を受託するとともに、泉北営業所の機能を同物流センターへ統合した。その後、製紙会社間の納入シェアの変動や新聞印刷工場の新設等により取扱貨物量が減少したため、物流センター事業の継続が困難となり、２００５年１月末日をもって泉大津物流センター営業所を閉鎖した。

【輸入木材・MDF 関連業務】

１９９８年よりニュージーランドから輸入される MDF について、荷主代行として輸入取扱、現場管理および入出庫管理を行った。これは、港湾荷役だけでなく、輸入貨物の管理と荷主支援まで担う業務を行っていたが、２０１７年３月をもって、荷主との契約終了にともない業務を終了した。

【夕凪ヤードと中古車輸出】

中古自動車の輸出基地が大阪港から堺泉北港へ移る傾向を受け、２０１４年に夕凪１号岸壁のヤードを借り受け、翌２０１５年には内陸部の中古車保管ヤードを追加した。

- 中古車の集荷と保管　● 輸出前検査への対応　● 輸出通関
- 自動車専用船への船積み　● 自動車専用船の誘致
- 中古車の輸出前受けサービス　● 中古車のコンテナバンニングサービス

２０１６年には舞洲の TRS から撤退して夕凪へ本格移転。その後、ヤード拡張を行い現在に至る。





4. 2025 年度郵船港運株式会社の自動車船取扱実績とヤード規模

２０２５年度における当社の堺泉北港・泉大津地区での自動車船取扱実績および夕凪地区の蔵置場所の規模は以下のとおりである。

〈自動車船取扱実績〉

項　目	2025 年度実績
寄港数	31 隻
取扱い台数	24,787 台

〈蔵置場所〉

項　目	2025 年度実績
夕凪ヤード（保税蔵置場）	約 65,000 ㎡
臨時ヤード（その他・８期）	約 18,000 ㎡
合　計	約 83,000 ㎡

※数値はいずれも当社取扱い分。面積は概数。

【夕凪ヤードマップ】



図　夕凪ヤードおよび臨時ヤードの配置

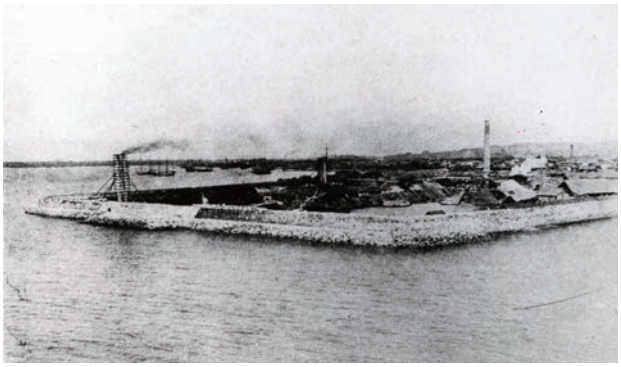
希望ある化学で、難題を打ち破る。未来を支えるスペシャリティ化学企業

ＵＢＥ株式会社堺工場



1. ＵＢＥの沿革

ＵＢＥ株式会社は、化学製品、機械などを製造するメーカーです。ＵＢＥの歴史は、１９世紀末に始まりました。当時はまだ小さな村に過ぎなかった山口県宇部の炭田を開発するために、地元の人々が出資してつくった匿名組合組織「沖ノ山炭鉱」の創業がその原点です。



沖ノ山炭鉱（明治 43 年）

「有限の鉱業から無限の工業へ」―― 限りある資源に頼る産業から、将来にわたり社会に役立つ事業へ転換していくという創業の精神のもと、化学・機械・セメントと事業の幅を広げてきました。その背景には、企業の発展と地域社会の発展をともに目指す、もう一つの創業の精神である「共存同栄」の考え方があります。時代の変化とともに事業を発展させ、現在はスペシャリティ化学企業として、モビリティ・情報電子・エネルギー・サステナビリティ・ライフソリューションなど幅広い分野で製品や技術を提供しています。

２０２２年に社名を「ＵＢＥ株式会社」に改め、新たなスタートを切りました。ＵＢＥグループとして、国内では山口県宇部市の工場群をはじめ、千葉県市原市、大阪府堺市、海外ではスペイン、タイに主要な製造拠点を有し、さらに中国やアメリカなど世界各地に販売の拠点を設けることで、世界中に高品質な製品やサービスをお届けする体制を整えています。

2. ＵＢＥ株式会社堺工場 概要



堺工場入口

- 操 業 年：1967 年(昭和 42 年)
- 所 在 地：大阪府堺市西区築港新町３丁１番地
- 敷地面積：460,000 ㎡
- 事業内容：化学製品の製造
- 生産製品：ポリイミド、分離膜、セパレータ、電解液、その他

3. 堺工場の沿革と製品



船からの荷揚げ作業

堺工場は、堺・泉北臨海工業地帯に立地するＵＢＥの主要な生産･研究開発拠点の一つです。大阪湾に面し、阪神高速道路や関西国際空港へのアクセスも良好な立地は、原材料輸送や製品出荷において高い利便性を備えています。当初はナイロンの原料となるカプロラクタムを主力製品としていましたが、現在は、より高機能で付加価値の高い機能化学品の製造拠点へと発展しています。これらの製品は、一般消費者の目に触れる機会は少ないものの、皆さまの安全で快適な暮らしを支える重要な役割を担っています。

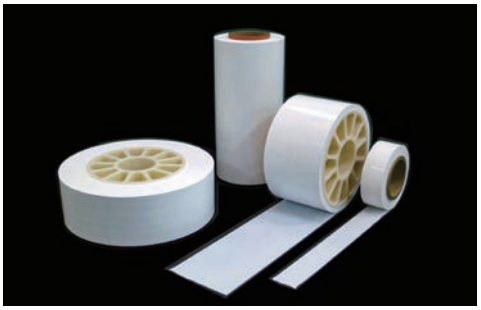
〔主な製品と特徴〕



● **ポリイミド**：強度と耐熱性、そして電気信頼性に優れた樹脂です。テレビやスマートフォン、自動車から航空宇宙まで幅広い分野で使用されています。ＵＢＥは、原料の BPDA からワニス、フィルム、パウダーまでを一貫生産する世界唯一のメーカーであり、自社原料と独自の成形加工技術により、さまざまな特徴のある製品を生み出しています。



● **分離膜**：混合ガスの中から特定のガスを効率よく取り出す機能を有する製品です。ＵＢＥのガス分離膜モジュールは、ポリイミド製の微細なストロー形状の中空糸膜が混合ガスを分離します。耐久性が高く、長寿命製品として、バイオガス精製、窒素富化、水素回収、除湿、有機蒸気脱水などさまざまな用途で幅広く利用されています。



● **セパレータ**（※1）：リチウムイオン二次電池内部で正極と負極を隔てる主要部材であり、電池の安全性を高めるため、高温時には孔が閉じて熱暴走を抑制する特性を備えています。高い安全性と高入出力特性が求められる車載電池を中心に幅広く採用されています。

※1…日立マクセル（株）(現 マクセル（株))と設立した宇部マクセル（株）で製造



● **電解液**（※2）：リチウムイオン電池の充電・放電や電池の劣化を抑制する重要な部材です。配合する添加剤によって様々な機能を付加することができ、添加物の差異化が技術力の源泉となっています。

※2…三菱ケミカル（株）と設立したMUアイオニックソリューションズ（株）で製造

4. 大阪研究開発センター

堺工場内に設置されている大阪研究開発センターは、ＵＢＥの未来を支える研究開発拠点です。スペシャリティ化学の成長と地球環境への貢献を目指し、タイ・スペイン・アメリカ等の各海外拠点と連携しながら、環境貢献型の高機能製品の研究開発を進めています。

２０１６年には合成・分析評価室やワークスペースを備えた建屋を設立し、２０２５年には研究開発機能のさらなる充実に向けて、複合材料開発からアプリケーション開発までを一貫して行う２期棟を新設しました。



大阪研究開発センター

5. 安全への取り組み



安全体感教育設備

私たちは「安全はすべてに優先する」という共通の価値観のもと、日々の活動に取り組んでいます。堺工場内には安全体感教育設備があり、実際の危険をシミュレーションにより体験することで事故や災害の未然防止につなげ、組織全体での安全文化醸成に役立てています。

6. 地球環境問題への対応、地域社会との共生

私たちは、環境負荷の少ない製品の開発を通じて地球環境保全に貢献するとともに、堺工場においても省エネルギー設備の導入や廃棄物削減、CO_2排出量の削減に取り組んでいます。また、地域社会とのつながりも大切にしており、工場周辺の清掃活動や緑化活動にも積極的に参加しています。



一斉清掃



共生の森

7. まとめ

ＵＢＥは現在、スペシャリティ化学企業へと変革を進めており、２０２５年度から

「希望ある化学で、難題を打ち破る。」というパーパス（存在意義）を掲げています。

創業以来の歴史の中で培ってきたモノづくりの技術を活かし、社会に必要とされる価値を、社会が求める安全で環境負荷を極限まで低減した方法で創り出し、人々に提供していくこと。これにより、人類共通の課題となった地球環境問題の解決に、また人々の生命・健康、そして未来へとつながる豊かな社会に貢献することで、持続可能な社会の実現に寄与していきます。



魚庭の海おおさか大会

第45回 全国豊かな海づくり大会

令和8年 11月14日(土)・15日(日)

場所
式典行事 南海浪切ホール（岸和田市）
海上歓迎放流行事 府営りんくう公園（泉佐野市）
関連行事 岸和田旧港地区緑地（岸和田市）りんくうアイスパーク（泉佐野市）

大会公式 HP

©2014 大阪府もずやん

主催：豊かな海づくり大会推進委員会／第 45 回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会　後援：農林水産省／環境省
問い合わせ先：第 45 回全国豊かな海づくり大会大阪府実行委員会（事務局：大阪府環境農林水産部 水産課内）　〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16　TEL 06-6210-9612

全国豊かな海づくり大会を大阪で初めて開催します！

海は森・里・街・川とつながっており、各々での環境保全に向けた取組が豊かな海を育みます。
大会では、森・里・街・川・海の環境保全や大阪府の特色ある都市型漁業の
取組、さらに歴史・文化・食といった大阪の魅力を全国に力強く発信します！



森・里・街・川・海のつながり

第45回 全国豊かな海づくり大会【招待者のみ】

式典行事 11月15日(日)

南海浪切ホール（岸和田市）

功績団体表彰や最優秀作文の発表、稚魚のお手渡しなど。



令和７年
三重大会の様子

海上歓迎・放流行事 11月15日(日)

りんくう公園シーサイドウォーク（泉佐野市）

府の代表的な漁法紹介や漁船団による海上パレード、稚魚放流を実施。

関連行事 11月14日(土)・15日(日) 9:30～16:30

岸和田会場：岸和田旧港地区緑地（通称：アクアパーク・岸和田市港緑町4）

泉佐野会場：りんくうアイスパーク（泉佐野市りんくう往来北1－23）

企画展示・体験

小さなお子様にもお楽しみいただけるブースを準備！



物産販売



大阪産(もん)など、多彩な食材を楽しめるブースをご用意！

ステージイベント

さかなクンやアンバサダーなどによるトークショーなど、イベントが盛りだくさん！



大会中継

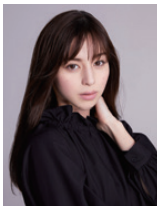
LIVE 中継

大会の模様を中継！

大会を盛り上げていただきます！



アンバサダー
村上信五さん



スペシャルサポーター
中条あやみさん

楽しいコンテンツが目白押し！
詳細は公式HPやSNSをチェック！
ぜひお越しください♪

大会公式HP　X　Instagram（UMITAI_OSAKA）

協賛者のみなさま（令和８年10月現在）

岩井コスモ証券
KANEHISA
JF大阪漁連
池田泉州銀行
小倉屋山本
NANKAI 南海電鉄
テレビ岸和田
ひらすや Shirasu
peach
MIDORI SEIKA
くら KURA
信頼で地域とつながる 大阪シティ信用金庫
KANSAI AIRPORTS
この街のホームドクター 大阪信用金庫
西日本旅客鉄道株式会社
JAグループ大阪
OUG group
大阪府土地改良事業団体連合会
堺泉北埠頭株式会社 SAKAI SEMBOKU WHARF Co.,Ltd
不二製油株式会社
一般社団法人 大阪府木材連合会
SARAYA
創業 1887年 元・大阪 平野町 高山堂
御菓子司 小山梅花堂
月化粧
御菓子司 岸和田 風月堂
関西みらい銀行
Daiwa Lease
くらしに笑顔お届けします 大阪いずみ市民生活協同組合
大阪商工信用金庫
一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構
大阪湾広域臨海環境整備センター
HITACHI
KAISO BANK
公益財団法人 大阪府都市整備推進センター
ALLIANCE FOR THE BLUE
大阪産(もん) 名品の会
きらめきファミリー ときめきフレンズ 大阪厚生信用金庫
Cerezo OSAKA
JA大阪泉州　JAいずみの
いいもの・いつも・いつまでも カタギ食品株式会社
SENSHU TOWEL
明治安田
JF大阪市漁協
大阪府花き園芸連合会
大阪釣具協同組合
バイオマスパワーテクノロジーズ
IZUMISANO KANKU
鮮度がごちそう 大起水産
りそな銀行
農林中央金庫
日本生命

本広告は、(一社)大阪府港湾協会様のご協賛により掲載しております。

美しく安全な港を

Keep the Port Clean and Safe

―会員の皆様とともに―
堺泉北港の海面清掃や
啓発活動を通じて
美しく安全な港づくりに
貢献します。



使い捨ての習慣を見直そう
ごみのポイすてはやめよう
河川・海岸の清掃活動に参加しよう

一般社団法人　大阪府清港会
Osaka Pref.Seikou-kai
会長　松本　繁明

〒592-8331
堺市西区築港新町４丁３番地
TEL 072-244-7571
FAX 072-247-1314
seikokai@aroma.ocn.ne.jp

入港から出港まで安全にサポートします！

大阪府タグ事業協同組合

理事長　小幡　斉

組合員

関西港湾サービス株式会社
内海曳船株式会社
日東タグ株式会社
三洋海事株式会社
日本海事興業株式会社
株式会社武丸海運
昭陽汽船株式会社
日本栄船株式会社



〒595-0055　大阪府泉大津市なぎさ町6番1号　堺泉北港ポートセンタービル8階
[TEL]0725-31-0521　[FAX]0725-31-0578　[MAIL]info-0521@osaka-tug.org

皆さまの料金が 大阪の未来 をつくる。

Your contributions shape the future of Osaka.



当駐車場の収益は
大阪府内のまちづくり支援や市町村の道路技術支援などに充当されています。

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター

まちづくり事業部駐車場事業課　TEL.06-6262-7720　FAX.06-6121-2675

〒541-0053　大阪市中央区本町１丁目８番12号オーク堺筋本町ビル１０階

HP

金融＋で、未来をプラスに。RESONA GROUP

海外ネットワークを拡大中。
海外進出支援体制を強化しています。



アジアを中心とした海外ビジネスに関するご相談はお気軽に弊社までお問い合せください。

関西みらい銀行
KANSAI

港湾地域における円滑な物流活動を支援すること
を通じて社会に貢献していきます



堺泉北埠頭株式会社
SAKAI SEMBOKU WHARF Co.,Ltd

埠頭運営事業　青果事業　上屋賃貸事業
中古車ストックヤード賃貸事業　シャーシプール賃貸事業　緑地運営事業

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6-1 堺泉北港ポートサービスセンタービル9F TEL.0725(20)2270 FAX.0725(20)2281
堺青果センター 〒590-0987 堺市堺区築港南町12番地 TEL.072(222)0391 FAX.072(232)1241

ボウリング カラオケ 団体予約承ります!!





泉大津フタバボウル
〒595-0072 泉大津市松之浜町1-2-53
ボウリング 0725-22-8128 カラオケ 0725-33-8920

お得なクーポン
配信中→

南海 松ノ浜駅より徒歩2分　無料駐車場67台完備　送迎バス有(要予約)



泉大津港湾振興会

会　長　南出　賢一（泉大津市長）
副会長　森本　護　（大一機工㈱専務取締役）
副会長　中林　政一（藤原運輸㈱大阪支店 統括営業部長）
副会長　中田　憲正（堺泉北埠頭㈱相談役）

〒595-8686　泉大津市東雲町9-12
泉大津市市長公室　地域経済課内
TEL. 0725（51）7651　FAX. 0725（32）6000

ENEOS

ENEOS株式会社　堺製油所

〒592-8550 大阪府堺市西区築港浜寺町1番地

貝塚港湾労働者福祉センター内にて

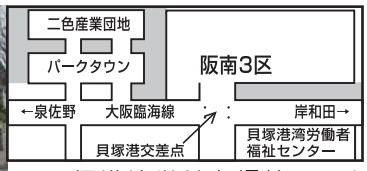
みんなの食堂 テッペン 頂 営業中！

お気軽にお立ち寄りください！

貝塚港湾振興会

会　長　牛尾治朗（貝塚市長）
副会長　宮﨑和昭（貝塚商工会議所会頭）
副会長　兼光昌幸（奥本製粉㈱代表取締役社長）





貝塚港湾労働者福祉センター
貝塚市港25番地　TEL072(431)5554

〒597-8585　貝塚市畠中1丁目17番1号
貝塚市都市整備部都市計画課内
TEL.072（433）7246（直通）
FAX.072（433）7511（代表）

岸和田港振興協会

Kishiwada Port Promotion Association Since 1952

会　長　佐野　英利（岸和田市長）
副会長　太田　享之（岸和田商工会議所会頭）
岸　勝志（岸和田市副市長）

〒596-8510　岸和田市岸城町7-1（岸和田市魅力創造部産業政策課内）
TEL:072(423)9618　FAX:072(423)6925

コーナン

全ての経営活動を「お客様視点」へ転換させ、
誰からも愛される「日本を代表する住まいと暮らしの総合企業」を目指します！



コーナン商事株式会社：〒532-0004　大阪市淀川区西宮原2丁目2番17号　TEL 06-6397-1621(代)
ホームページ　https://www.hc-kohnan.com/

堺港湾振興会
Sakai Port Promotion Association

会　長　堀畑　浩重（阪南倉庫㈱代表取締役社長）
副会長　井内　義之（関西港湾サービス㈱代表取締役社長）
副会長　上西　浩（堺市産業振興局長）

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368　FAX 072(244)3496



関西ケミカルセンター
高石市高砂2－1

●危険物（第1類～第5類）
●毒物及び劇物
●温度管理品
●輸出入貨物（阪神港至近）

お問い合わせは
●関西ケミカルセンター
072-268-3909
●営業企画グループ
072-243-3912

心に「Thank you」を、世界の産業に山九を。
SANKYU
山九株式会社　泉北支店
堺市西区浜寺石津町東2－3－30

汐見埠頭協議会

会　長　角野　錦吾（朝日海運株式会社）
副会長　甲斐　信之（間口運輸株式会社）
副会長　渡辺　貴也（山九株式会社）

新洋海運は
ASEANの物流網をトータルサポート

～物流プロフェッショナルパートナーとして社会の潜在課題を
現場力×創造力で解決し持続可能な未来をつくります～

【事業内容】
・一般港湾運送事業・貨物運送取扱事業・倉庫業・海運代理店業・通関業・梱包請負業・港湾荷役・損害保険代理業

新洋海運株式会社
SHINYO KAIUN CORPORATION
代表取締役社長執行役員　稲葉徹志

本　　社　〒590-0954　堺市堺区大町東1丁1番10号
TEL(072)238-1161　FAX(072)-223-4050
支　　店：南港・泉北　　営　業　所：博多・東京
事 業 所：桑名・宮崎・大浜・塩浜　海外現地法人：ベトナム・タイ

泉北港港運協議会

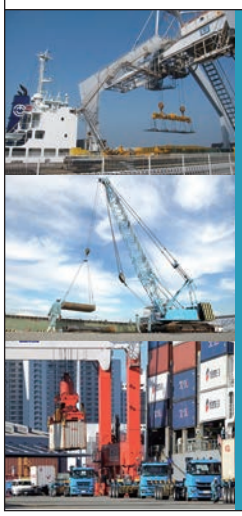
会　長　衣畑　拓也（中谷運輸株式会社）

〒595-0075 泉大津市臨海町2丁目1　泉北5区港湾労働者福祉会館内
TEL 0725(21)4377　FAX 0725(21)4377

高石港湾振興会

会　長　　畑中　政昭（高石市長）
副会長　　谷本　順一（高石商工会議所会頭）
副会長　　滝口　靖夫（株式会社上組大阪支店三井化学営業部 部長）

〒592-8585 高石市加茂４丁目１番１号 高石市総合政策部 まち未来戦略室 産業共創課内
ＴＥＬ ０７２（２６５）１００１　ＦＡＸ ０７２（２６３）８１４３




nakatani
中谷運輸株式会社
代表取締役社長　中谷　庄司朗

〒552-0022　大阪市港区海岸通１丁目５番22号
Tel. 06-6572-5021　Fax. 06-6574-1023







阪九フェリー
旅客 乗用車 ご予約・お問い合わせ 0570-01-8989
トラック 新門司…093-481-6681 神 戸…078-857-1223 泉大津…0725-22-6361
公式HP
チケットレスで、スムーズに。

間口運輸株式会社

創業 明治３４年

代表取締役会長 間口 敦生
取締役社長執行役員 間口 陽介

港湾運送事業 港湾荷役事業 倉庫業 通関業

〒552-0021 本社 大阪市港区築港2丁目8番34号

泉大津埠頭株式会社

代表取締役社長 南出 賢一

〒595-0055 泉大津市なぎさ町6番1号
TEL.0725(33)6851 FAX.0725(33)4425

海・陸 一貫くらしを支えます！

大阪運輸株式会社

本社 〒559-0013 大阪市住之江区御崎6-3-1
TEL.(06)6682-8808(代表) FAX.(06)6682-8818
URL. http://www.osakaunyu.jp/ 大阪運輸 検索

大阪府水難救済会

MARINE RESCUE OSAKA

会長 織田 浩二

〒592-8332 堺市西区石津西町26 堺市港湾事務所内
TEL 072(244)7368 FAX 072(244)3496

THE BEST FROM THE WORLD
いいものを世界から
服飾事業・不動産賃貸業・営業倉庫業
株式会社 カワサキ
https://www.kawasaki-corp.co.jp【上場コード 3045】
本社 〒595-0814 大阪府泉北郡忠岡町新浜2丁目9番10号
TEL.072-439-8011 FAX.072-439-8013
大阪支店・東京支店

南海本線 泉大津駅前 ホテル レイクアルスター アルザ泉大津

HOTEL Lake Aster

一品一品に旬の息吹にあふれた素材をふんだんに取り入れ、職人が腕をふるう本格会席料理でおもてなし致します。
●ご宿泊・ご宴会予約、承ります●
TEL.0725-20-1121 FAX.0725-23-1959

曳船業・海上防災業・船舶代理店業・繋離船業

関西港湾サービス株式会社

代表取締役社長　井内　義之

本　社／〒590-0974 堺市堺区大浜北町3丁4番2号
TEL 072(238)3965　FAX 072(238)3968

●軽水炉(PWR／BWR)用原子燃料の開発・設計及び製造
●軽水炉(PWR／BWR)の炉心管理サービス
●新型炉HTRその他研究炉用燃料
●原子燃料サイクル関連技術開発
●原子燃料関連検査装置等の設計、製作



原子燃料工業株式会社

本社	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央四丁目33番5号	TEL 045-500-6310
熊取事務所	大阪府泉南郡熊取町朝代西1丁目950番地	TEL 072-452-3901
	(泉大津工場)泉大津市河原町7番5号	TEL 0725-22-3363
大阪営業部	大阪市西区土佐堀一丁目3番7号	TEL 06-6443-0628

コスモ石油株式会社
堺製油所

〒592-8331
大阪府堺市西区築港新町三丁１６番地
TEL：072-245-8551　FAX：072-245-1249
URL：http://www.cosmo-oil.co.jp

大阪府公安委員会　第 62000413 号（一社）大阪府警備業協会会員

安心・安全・信頼　真心のサービスを提供

第一警備保障株式会社

代表取締役社長　阪本　敦史

〒595-0055　泉大津市なぎさ町２番 10 号
TEL　0725-33-6787
FAX　0725-33-7649

海陸複合一貫輸送により物流戦略をサポートします。
RORO船定期航路利用によるモーダルシフトの促進

大王海運株式会社

代表取締役社長　岩井 正実

ISO9001:2008認証取得　ISO14001:2004認証取得

〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目2番5号 飯田橋メインビル
TEL.03-3261-6815 FAX.03-3261-7310

港湾運送業　倉庫業　建設業　通関業

Daito Co., Ltd.

LOGICAL & DYNAMIC

株式会社 大都

代表取締役社長 間口　豪

〒552-0022 大阪市港区海岸通2丁目1-11
TEL.06-6574-0125 https://www.daito.biz/



通関・海陸一貫輸送業

八興運輸株式会社

〒595-0074 大阪府泉大津市小津島町4番地
TEL 0725 90 5385 FAX 0725 90 5485



CAPSOHN
阪南倉庫株式会社

本社：〒590-0959 大阪府堺市堺区大町西3-2-3
TEL：072-232-0267 / FAX：072-232-0054
URL：https://capsohn.co.jp/

募集

（一社）大阪府港湾協会

(一社)大阪府港湾協会は府営港湾各港の振興対策の推進、府域の産業経済の発展と府民生活の向上、並びに沿岸市町の都市基盤整備に寄与することを目的とする一般社団法人です。



新規会員

【会費】　１口１万円～　（年間）

大阪府営港湾の振興の一環として、会員企業・団体の皆さまに各種セミナーのご案内（参加無料）や会報誌「大阪府のみなと」の広告掲載など、日頃の業務にお役立ていただけるサービスを実施しております。

【会員向けサービス】

○総会記念講演会

○各種セミナー

大阪みなとセミナー、研修セミナー等

○先進港視察

★視察先一例

（令和７年度）

・清水港新興津コンテナターミナル

・はごろもフーズ㈱新清水プラント

・㈱河合楽器製作所竜洋工場

・静岡県浜松内陸コンテナ基地

（令和６年度）

・第六管区海上保安本部備讃瀬戸海上交通センター

・香川県高松港　・㈱新来島サノヤス造船

・岡山県水島港

（令和５年度）

・千葉県木更津港　・神奈川県横須賀港

○会報誌『大阪府のみなと』（無料配布・年３回発刊）

「大阪府のみなと」へのご意見・ご感想及び広告掲載

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。併せて「大阪府のみなと」への広告掲載も募集しております。いただいた広告は会員情報に掲載します。



【お問合せ】

(一社) 大阪府港湾協会事務局

〒595-0055

大阪府泉大津市なぎさ町６番１号

堺泉北港ポートサービスセンタービル 10 階

Tel　0725-20-0690　　Fax　0725-21-7259

E-mail　kyoukai@fship.or.jp

【公式ホームページ】

アドレス　https://www.fship.or.jp/

(大阪府営港湾 WEB サイト Friend&Ship)

会員名簿

㈱アイ・エー・エー
朝日海運㈱
㈱アテックス
イースタン・カーライナー㈱ 泉北営業所
泉大津港湾振興会
泉大津市
泉大津商工会議所
泉大津埠頭㈱
泉大津マリン㈱
泉佐野市
泉佐野商工会議所
一心港運㈱
岩谷液化ガスターミナル㈱
岩出建設㈱
㈱エヌティーシー
ＥＮＥＯＳ㈱ 堺製油所
大阪運輸㈱
大阪運輸倉庫㈱
大阪機船㈱ 南海支店
(一財)大阪港湾福利厚生協会
大阪製鐵㈱ 岸和田工場
大阪船主会
大阪府
大阪府漁業協同組合連合会
(一社) 大阪府清港会
大阪府タグ事業協同組合
(公財)大阪府都市整備推進センター
(一財) 大阪府マリーナ協会
大阪府みなと友好倶楽部
大阪府ヨットセーリング連盟
(一社) 大阪木材コンビナート協会
大阪湾広域臨海環境整備センター
大豊運輸倉庫㈱
㈱オーナミ 関西事業部
奥田数㈱
奥本製粉㈱
貝塚港湾振興会
貝塚市
貝塚商工会議所
梶野産業㈱
金澤運輸㈱
カナデビア㈱ 堺工場
要薬品㈱
兼杉興業㈱
㈱上組 大阪支店
㈱カワサキ
関空泉大津ワシントンホテル
関西クリアセンター㈱
関西港湾サービス㈱
関西電力㈱ 火力事業本部
関西電力㈱ 堺LNGセンター
関西トランスウェイ㈱
㈱関西みらい銀行
関西木材㈱
岸和田港湾荷役㈱
岸和田市
岸和田商工会議所
岸和田港振興協会
(特非)紀泉地域21総合整備協議会
共立梱包㈱
共和海建㈱
(公社)近畿海事広報協会
近畿港運㈱
㈱クリエイション
㈱栗本鐵工所 堺工場
ＫＨネオケム㈱ 堺物流センター
ケイヒン海運㈱
原子燃料工業㈱ 熊取事業所
㈱合通ロジ
鴻池運輸㈱
コーナン商事㈱
コスモ石油㈱ 堺製油所
㈱サウスポイント
堺港湾振興会
堺市
堺商工会議所
堺泉北港湾砂利石材協同組合
堺泉北船舶安全協議会
堺泉北埠頭㈱
㈱堺ポートサービス
栄運輸工業㈱
阪口倉庫㈱
阪本薬品工業㈱ 泉北工場
櫻井工業㈱ 製材所
㈱さくらコーポレーション 泉大津支店
山九㈱ 泉北支店
産業振興㈱ 西日本営業部 関西営業所
三興倉庫㈱
三洋海事㈱
サンワールド㈱
汐見埠頭協議会
新関西国際空港㈱
新関西製鐵㈱
伸共運輸㈱
新洋海運㈱
㈱スバルロジスティクス 関西納整センター
㈱住友倉庫
センコー㈱ 南大阪支店
泉州トラック事業協同組合
セントラル・タンクターミナル㈱ 大阪事業所
泉南市
(一社) 全日検 大阪支部
泉北港港運協議会
大一機工㈱
第一警備保障㈱
㈱大運
大王海運㈱
Daigasガスアンドパワーソリューション㈱ 泉北製造所
㈱大都
㈱大日警 大阪営業所
大利運輸㈱
高石ケミカル㈱
高石港湾振興会
高石市
高石商工会議所
㈱武丸海運
田尻町
忠岡町
㈱辰巳商会
田中土建㈱ 大阪南合材センター
チヨダウーテ㈱ 貝塚工場
㈱土田組
㈱Dear Laura
ＤＩＣ㈱ 堺工場
東亜建設工業㈱ 大阪支店
東洋建設㈱ 大阪本店
㈱東洋信号通信社
内海曳船㈱ 堺出張所
中谷運輸㈱
㈱西村運輸倉庫
㈱日新 関西倉庫部
日鉄物流㈱ 関西支店
日東タグ㈱ 阪神本部
日東物流㈱ 大阪支店
日本製鉄㈱ 関西製鉄所
日本製鉄㈱ 瀬戸内製鉄所 阪神地区(堺)
日本通運㈱ 大阪国際輸送支店
日本栄船㈱
日本海事興業㈱ 神戸・大阪営業所
日本酢ビ・ポバール㈱
日本振興事業協同組合
日本トランスシティ㈱ 大阪支店
舶用商事㈱
畑野工業㈱
八興運輸㈱
㈱PALTAC
パレ・フタバ㈱
阪九フェリー㈱ 泉大津支店
阪南港運㈱
阪南市
阪南倉庫㈱
阪和流通センター大阪㈱
広道商店
藤原運輸㈱
㈱不動テトラ 大阪支店
㈱古川重機興業
平和オート㈱
㈱ベスト・プロパティ
豊国石油㈱
POSCO Japan PC㈱
㈱北海鉄工所
北港運輸㈱ 南大阪支店泉南センター
㈱眞壁マテリアル
間口運輸㈱
㈱松菱
丸一鋼管㈱ 堺工場
丸全昭和運輸㈱ 関西支店
丸全昭和運輸㈱ 堺泉北支店
丸紅エネックス㈱ 堺ターミナル
岬町
三井化学㈱ 大阪工場
三井金属パーライト㈱
港通船運輸㈱
南大阪埠頭㈱
㈱やまと
㈱ヤマモト鉄工所
郵船港運㈱
ＵＢＥ㈱ 堺工場
㈱横河ブリッジ
㈱吉田組 大阪支店
ライオン㈱ 大阪工場
㈱ ONE CROSS

令和8年10月１日現在
会員　182 団体



第４８回海の写真コンクール　特選（大阪府知事賞）　夫婦船

一般社団法人
大阪府港湾協会
FRIEND & SHIP
大阪府営港湾振興Webサイト

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号　TEL.0725-20-0690

印刷発行／令和8年10月
※乱丁はお取り替え致します。